

昔

* 女性は…
家で家事・育児・介護



* 男性は…
外で仕事



* 祖父母は…
2世代で子育てが
出来る家庭が多かった



家庭

今



* 女性も男性も…
家事・育児・介護・仕事を
分担!
特に子育ては核家族化が
進み、夫婦の協力が
不可欠!!
ワーク・ライフ・バランス
を大切に!



まだまだ問題は山積みです…!!

* ジェンダーギャップ指数を知っていますか?

ジェンダーギャップ指数とは、世界各国の男女格差を数値化したものです。

評価の分野は経済・教育・健康・政治。

4分野の評価点の平均値をもとに、毎年、各国の順位が公表されています。順位が低いほど「男女間の格差が大きい」ということになります。

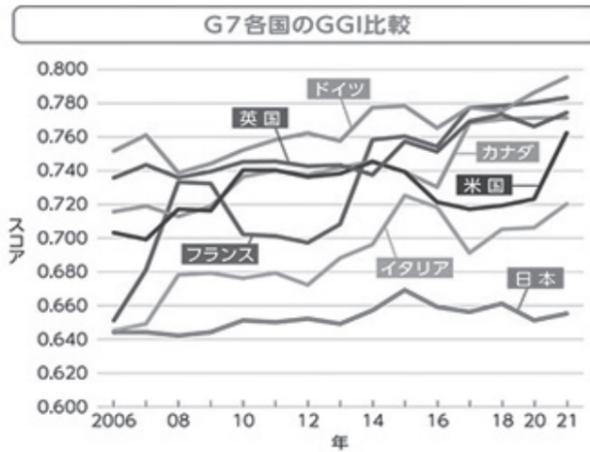
2022年、日本の順位は146か国中、116位。

主要7か国の中では最下位でした。

(右の表は、昨年までの数値を主要7か国で比較したグラフです。)

分野別にみると、「教育」「健康」分野の順位は高いものの、「経済」「政治」分野の順位が低い傾向がありました。

女性の参画率や男女の労働・賃金格差など、まだまだ私たちが考えるべきことはたくさんあります。



*2018年公表までは、公表年のレポートが公表されていたが、2019年公表分は「GGGR 2020」となり、2020年のインデックスとして公表されたため、年の数字が連続していない。

出典：「共同参画」2021年5月号（内閣府男女共同参画）

編集後記

私たちは人生の中でさまざまな選択の岐路に立たされます。

一番自分らしい生きかたを選択し突き進んでいった道が、差別や偏見のない生きやすい社会になっていること。そんな社会の実現のために、このハーブティの記事が「自分にできることは何か」を、読者の皆さん一人一人が今一度考えるきっかけになればいいなと思いました。

しらおか男女共生広報紙編集委員会委員 阿部多喜恵 江口佐知子

問合せ 地域振興課人権担当 ☎0480(92)1111 内線 385

ハーブティ

～女と男をかんがえる～ ハーブティ：「ハーブ (herb)」は薬草のことで、茎や葉を生または乾燥して使います。これが心と体にバランスのとれたよい刺激を与えることから、女と男も互いにバランスのとれたよい関係であるように、また一杯のお茶から地域のネットワークも広がれば…という願いがこめられています。

ひと昔前と比べて、私たちの社会はどう変わった?



いっしょに考えよう!
「男女共同参画社会の昔と今、これからのこと」

昔

今

* 意思決定の場に
女性が少ない
* DVやセクハラ
の認知度が低い



社会

* 意思決定の場への
女性の参画
* 個人の尊厳を守る
法整備の拡大



* 職業における
性別固定のイメージ

* 性別にとられない
仕事・働き方



* 地域ボランティアの
中心は家庭を支える
女性
* 性別による固定概念
のある社会



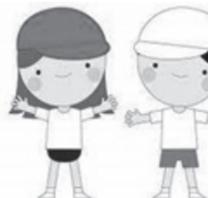
* 誰もが活躍できる地域
コミュニティ
* 性別関係なく、個性や
能力を発揮できる社会

* ランドセル
女の子は「赤」
男の子は「黒」



教育

* ランドセル
女の子も男の子も
自由な色!

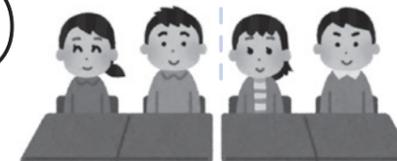


* 体操着
女の子は「ブルマ」
男の子は「短パン」



* 体操着
女の子も男の子も
ハーフパンツ!

* 呼び方
女の子は「〇〇さん」
男の子は「〇〇くん」



* 呼び方
女の子も男の子も
「〇〇さん」